指輪　～空の下で～

天川つばさ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト
http://pdfnovels.net/

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。
　この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
指輪　～空の下で～

【Nコード】
N5821I

【作者名】
天川つばさ

【あらすじ】
変わらない日々、変わらない仕事、
でも、最近付き合い始めたばかりの年上の彼。
私の心は、少しだけ変化したの・・・
彼がいることで、落ち着く私・・・

彼との連絡はメール。

彼からのメールが、忙しい毎日を少しだけ癒してくれるの・・・

人を愛する事に、ルールなんていらない！

正直に、真っ直ぐに！

（前書き）

恋愛に、年の差を感じた事はありますか？

彼からのメール…

そう…

私が、仕事中でも携帯を手放さない事を知っているから。

こっそりトイレに行ってメールの確認をした。

「今日は、寒いね」

ぱたっ

それだけかよ！

冬で朝早いんだからあたりまえじゃない…

素直になれない私…

本当は、嬉しいくせに強がってばかり…

私の彼は、年上

ちょっとおやじ入ってるけど…

ビールは、飲むし…

煙草も吸う…

デートの時は、昼間からだって平気で飲み始める。

そろそろ注意しなきゃ

でもね…

私は、気に入ってる。

だから…

彼なんだけど…

なんのとりえもないただのおやじ…

でも…

私の何倍もロマンチック。

時々のサプライズに驚かされてしまうし…

恥ずかしがる私に平気で手をつなぐことをせがむ。

恥ずかしがって手を出せない私に決まって一言いう。

「おばか」

私は、恥ずかしがりやでいつも目がすわってない。

まるで…

挙動不審。

きっと警察さんが私を見たら…

職務質問されるかも…

彼の目をまともに見ることさえ恥ずかしい…

手なんか繋げない…

恥ずかしくて…

でも…

彼の声を聞くと落ち着く…

笑い声も好き…

本当は、甘えたい

本当は、ぎゅってされたい

でも…

恥ずかしさが邪魔をする。

あと…

こんな私でいいの？

本当に私でいいの？

少しだけ

臆病になっている…

恋をするのは、はじめてじゃないけど…

いままでの恋は、捨てられないようにしていただけみたい…

彼と会ってから空が好きになった…

仕事で疲れた私にまたメール。

また　トイレに行って確認。

「指輪のサイズは？」

いきなりいわれたって…

知るか！

彼は、疲れているはずなのに…
いつも

冗談で笑わしてくれる。

おやじギャグだけど…

本当は、自分のためだけにやさしいのが普通なのに…

彼は、私のためだけにやさしい…

休みだって私より少ないのに…

今までの恋は、愛してるって言ったことがない。

名前を素直に呼べないし…

怖いから…

また…

辛くなりたくないから…

おいでって呼ばれても
怖くて行けない…
信じて
信じて
信じて

裏切られたから…

尽くして
尽くして
尽くして
捨てられたから…

人をもう愛せないの…

また、メール…

トイレに駆け込む私。

「愛さなくていいよ」

んっ？

また…

終わりなの？

もう…

恋なんて絶対しない！！！

「さよなら」

って　返信した。

しばらくの時間が空いた。

辛かった…

携帯を見ていてもメールは、こない…

終わったんだ…

終わったんだ…

自然と涙が止まらない。

職場の中で泣けないから…

休み時間に走って行った。

公園に向かって…

騙された…

裏切られた…

もう…

恋なんてしない!!!!

なんとなく…
空を見上げた…
あの声も…
あの笑い顔も…
もう…
終わり…
苦しい…
苦しい…
苦しい…
あんなに好きだったのに…
愛したかったのに…

キスしてよ！

抱きしめてよ！

でも…

素直になれない…

怖くて…

公園で、目がはれてしまう位泣いた…

涙で…

もう…

空が見えない…

あなたと出会った時大好きになった空が…

もう…

見えない！

見えない！

見えないんだよ！

携帯の振動が伝わる…

「ペアリングこれでいいよな」

送ってきた写メにならんだペアリング。

デートの時…

私の指にって…

「入らなかったら違う指にな…」

「お前…ゆび太いだろ…」

うるさーい！

「俺なんか愛さなくていい…」

「俺が、お前を愛すから！」

また…

あの声を聞ける…

笑い顔を見れる…

ねえ…

信じていいんだよね？

大好きでいいんだよね？

甘えていいんだよね？

公園のブランコに座った私は、空に向かって…

叫んだの…

愛してます！

愛してます！

愛してます！

あなたを！

（後書き）

最後まで、読んでくださってありがとうございます。

よろしければ、感想などいただけたら幸いです。

天川つばさ

ＰＤＦ小説ネット発足にあたって

　ＰＤＦ小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は２００７年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にＰＤＦ形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのＰＤＦ小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のＵＲＬをご覧ください。
http://ncode.syosetu.com/n5821i/

指輪　～空の下で～

2010年10月11日23時38分発行